

平成22年度第2回山武郡市地域活性化推進委員会 ・第1回山武郡市プロジェクトチーム会議議事概要

開催日	2010. 6. 15	開催時間	18:30～21:10	会 場	のぎくプラザ視聴覚室
出席者	地域活性化推進委員 秋葉秀央委員、石井博雪委員、梅室政司委員、櫻田晴美委員、稗田忠弘委員、 三澤清隆委員、名川哲哉委員(代理藤平氏)、高木純一委員、白石勇一委員(代理:西野様) 内山真義委員、佐藤正江委員、森川和子委員、 行方大実委員、竹宮哲哉委員、小崎健次委員、渡邊 聡委員、 牧野昌子委員 欠席:武田好二委員、行木静委員、堀越充委員、並木利幸委員、関谷 昇委員 活動団体 大網白里子育て支援ネットワーク協議会、さんむフォレスト、早船里山の会、 NPO御成街道保存会、野菜の自産自消の会、ひゃくしょう谷津田の会、 特定非営利活動法人ユース・サポート・センター・友懇塾、NPO法人さんむ杉のこ会、 校庭緑化応援団、NPO法人新月の木国際協会、農業を楽しむ会 事務局 小島妃佐子(NPO法人山武IT推進協会)、矢野孝宏(千葉県県民活動・文化課)、 太田真弓(山武市市民自治支援課)				
・活動団体自己紹介 活動団体と推進委員が自己紹介を行った。 活動団体から推進委員の連絡先を知りたいとの意見があり後ほど送ることとした。 ・プラットフォーム事業全体の再確認 事務局より説明 ・スケジュール・活動報告について 成果報告書関連書類において、年間の活動報告書に合わせるよう活動報告書の書式を見直し、 Webにてダウンロード可能なものにする。 ・広報活動について マスコミ:事前にイベント情報などを知らせていただき、ニュースリリースを行う 地域SNS:7月31日仮オープン。コミュニティや情報発信に利用してほしい。 ホームページ:記事の内容など都度更新してゆく。 ニュースレター:今年はなるべく紙を減らしたい。WEBちらしのようなものも手掛けていく。 ・今後の会議の進め方について 報告会ではない会議。課題を話し合いできるようにする。講習会なども検討。 開催日は毎月第一月曜日もしくは火曜日とする。 開催時間は18:30～とする。 場所は都度決定する。(各地でやって、不採択団体も参加できるようにしてほしい) 次回は7月5日(月)18:30～に開催、場所は後ほど決定する。 ・その他質問に対する回答 登録するメールアドレスは複数登録可能か?→可能とする。 IT用語が解りにくい→今後は注釈をいれる等により解りやすいようにする。 パソコンの使い方が解らない→山武IT推進協会によりサポートする。 送信するデータで用いるofficeのバージョンは?→2003とする。 テーマに沿った議論が必要。環境をメインに。目標がぶれないように。 プラットフォーム事業が終了したあと、継続し連携できるしくみをつくることが重要。 7月は課題を出してもらい、連携できるかどうかを話し合いたい。					

7月の会議は事前に活動団体の要約したものがほしい。まだよく知りあっていないので、情報交換が必要。

この事業に上部組織はあるのか？→ない。推進委員会とPT会議で進めていく。

以下、山武郡市地域活性化推進委員会のみ開催

- ・推進委員の担当割り振りについて

桜田晴美氏はひゃくしょう谷津田の会にも加わる。

稗田忠弘氏はNPO法人新月の木国際協会にも加わる。資料⑦を修正し再配布する。

担当制の役割の確認について

推進委員は全団体と関係するが、担当というのは特に団体の主となる相談窓口として、という意味で行う。

各団体の活動報告書に、推進委員のアドバイスを記入する欄があるが、無理に書かなくてよい。

推進委員は採択団体の詳細をわかっていない。団体の活動内容を推進委員に。

毎月の活動報告に今月までのことと、来月以降の予定を書いてほしい。

PTと推進委員の合同会議は時々開催するのはいいだろう。

- ・広報について・ニュースレター発行について

ニュースレター発行部数を

東金市:500→300

大網白里町:500→350 とする。配布先は昨年通り。

県から送られてくるニュースレターと一緒に送れないか→検討する(県)

- ・推進委員会開催日程について

9月に開催、日程等は後日決定し、メーリングリストにて周知する。

広報の都合上、早目に会を開いて決めたい。→日程調整が必要。MLにて。

- ・不採択団体の巻き込みについて

昨年度の活動団体も含めて、情報の提供を行い、PT会議への参加を促していく。

情報提供だけでは足りない、情報提供に＋一枚お便りをつけたり、情報をもらうこともした方がいいと思う。

情報提供は生きた情報(アースデーやエコメッセなど)も提供する。

方向性としては、不採択団体とも一緒に取り組めることは取り組むことと、去年の団体にも引き続き連絡を取り合うこと。

- ・その他

牧野昌子委員長及び開催場所の推進委員はなるべくPT会議に参加するものとする。また、会場手配のことをお願いする。